

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和6年6月7日 事業実施課にて評価を実施
令和6年6月10日 事業実施課にて評価結果を決定

(2) 評価の方法

・令和6年9月、事業実施課による評価を外部有識者により再評価。その結果を取りまとめたものを10月、市ホームページに公表した。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標どおり達成できた。
特に長寿命化改良工事に関しては、安全管理・施工監理の徹底を図ったことにより、施工中の事故もなく、また工期遅延もなく、校舎全面の改修工事を終えることができたものと考えている。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

住道南小学校と南郷中学校の長寿命化改良工事は、「大東市小中学校長寿命化計画」に基づく最初の工事であり、仮設校舎を用いないローリング方式を採用したが、学校関係者及び工事関係者の協力を得て、1年半に亘った大規模改修工事を無事終えることができた。
ライフラインの更新や外壁改修、屋上防水、内部改修のほか、省エネルギー対策(LED照明、遮熱フィルム等)、学校要望に基づく改修(多目的室の設置、ロッカーの収納スペースの拡張、コンセント増設等)も併せて行い、教育環境の質的な向上を実現することができた。
住道南小学校の長寿命化改良工事では、安全安心な学校給食を提供していくため、給食室のドライ式への改修も併せて実施。衛生面において厨房環境を改善することができた。

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

大東中学校では、校舎外壁に機能の劣化(コンクリートのクラック、剥離等)が見られたことから、剥落・落下防止のための改修工事を実施した。生徒及び学校関係者への事故を未然に防ぐ工事を行ったことにより、安全な教育環境を確保することができた。

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
住道南小学校(Ⅰ期)	(1)	02	長寿命化改良事業	校	R	R4.4～R5.3	R5.3.31		
住道南小学校(Ⅱ期)	(1)	02	長寿命化改良事業	校	R	R5.4～R6.3	R6.3.29		
住道南小学校(99期工事)	(1)	02	長寿命化改良事業	校	R	R4.10～R6.3	R6.3.29		
南郷中学校(Ⅰ期)	(1)	02	長寿命化改良事業	校	R	R4.4～R5.3	R5.3.31		
南郷中学校(Ⅱ期)	(1)	02	長寿命化改良事業	校	R	R5.4～R6.3	R6.3.12		
南郷中学校(99期工事)	(1)	02	長寿命化改良事業	校	R	R4.10～R6.3	R6.3.12		
大東中学校	(2)	36	防災機能強化	校	R	R4.4～R5.3	R5.1.31		